

横芝 ロータリークラブ



会報

創立 昭和41年10月6日
承認 昭和41年11月21日
例会日時 毎週月曜
(12:30~13:30)
例会場 中国ダイニング富士屋
(横芝駅前)
事務局 〒289-1732
千葉県山武郡横芝町横芝1519-6
TEL 0479-80-1177 FAX 80-1178
ホームページ
<http://www.yokoshiba-rc.jp>
Eメール info@yokoshiba-rc.jp

2006~2007 RI会長ウィリアム・ビル・ポイド 第2790地区ガバナー白鳥政孝 ガバナー補佐菅井直秀

平成19年5月21日発行 NO.1806 第1934例会 会報委員長 森川忠

例会報告 平成19年5月21日

点 鐘	会長エレクト	齋藤逸朗
ソング	「手に手つないで」	
会長挨拶	会長エレクト	齋藤逸朗
会務報告	会長エレクト	齋藤逸朗
幹事報告	幹事	花澤英昌
プログラム	会員卓話	行木英夫君
	委員会報告	

会務報告

ファイヤーサイドミーティングの結果の次期活動計画書を、各委員長さんに提出して頂きましてありがとうございます。まだ提出されていない委員長さんは、調整の時間もありますので、早急に提出して下さい。よろしくお願い致します。
又、次週の月曜日11時より来期の理事会を事務局にて開催したいと思います。議題は「活動計画書作成についての調整等」です。

幹事報告

- ①お知らせ
 - ・第7回新旧会長幹事会
 - ・日本海洋少年団全国大会IN千葉(第48回)へのご協賛のお願い
- ②週報受領
 - ・茂原中央RC
 - ・大網RC
 - ・茂原東RC
 - ・多古RC

会長エレクト挨拶

皆さんこんにちは！
本日は、内田会長の代役として副会長の齋藤がご挨拶をさせていただきます。内田会長がアクシデントの為軽いムチウチになりまして、検査の為病院に行く事になり、欠席させて頂くと連絡がありました。例会終了後、花澤幹事とお見舞いに行参ります。



又、本日は行木さんの卓話や次期クラブ奉仕委員長の富さんの発表を楽しみにしております。

面白いデータの一つ皆さんに披露したいと思います。

企業が顧客を失う原因

6位	死亡	1%
5位	転居	3%
4位	知人の影響	5%
3位	ライバルの影響	9%
2位	商品への不満	17%
1位	従業員の無関心	68%

企業が栄える基はお客様の方に向いているか？

「変化の時代に対応するには、変化の時代に自らが変わる！」という事です。私達の企業も、横芝ロータリークラブも栄える為、職業奉仕委員会を中心にしっかりと強したいと思います。以上です。

又、来週の月曜日11時より来期の理事会を事務局にて開催したいと思います。”活動計画書作成について調整等”です。

会員卓話

私の経歴と職業

行木英夫会員



入会らい初めての卓話でありますので、自分の経歴と職業について若干お話をし、皆様に私を知ってもらいたいと思います。

私が学校を出る頃は、列島改造の時代でした。そのような事もあり、当時、中堅ゼネコンでありました大都工業(株)に就職いたしました。今この会社は、バブル崩壊後、会社更生法により三井不動産建設(株)に統合され、みらい建設(株)という会社になっております。

当時、千葉県は浦安から市原にかけて浚渫埋立ての全盛期でありました。そうゆう港湾浚渫埋立工事を主に、その他土木工事を得意とする会社でした。浚渫埋立はどのように行いかと言いますと、埋立区

域を木柵等で囲い、沖合いの浚渫ポンプ船よりノズルの先に歯の付いたカッターの回転により海底を掘削し、海水と一緒にポンプにて吸い込み、ゴムスリーブの付いたパイプラインにて埋め立て場まで圧送し流し込みます。砂は沈殿し、うわ水は流れ出るというきわめて荒っぽい工法です。当時は、水と一緒に埋めるので締まった地盤になるという事でしたが。当時、東京湾の海底はヘドロの層が2m位あったそうです。ヘドロも一緒に埋め立てていた訳ですから後で地盤沈下等の問題が起きたそうです。関空の場合などは、山砂とセメントミルクを混合したものをパイプラインにてポンプで圧送し、沖合いを埋めたと聞いております。

研修後、千葉支店工事課に配属されました。工事課の仕事は一口で言いますと、工事の原価管理と工事に関する全体の管理で有ります。各工事の実行予算を組み、会社の業績決算予想の基になる仕事をしている所であります。株の取引をおこなっている方はきになる事でもあります。これが証券市場で発表される事により、株価が上下するわけです。とはいえ、毎日、材料の積算、請求書の数量単価のチェック、ガソリンの伝票まで細かくチェックしておりました。この頃、木材の単位は石数で表す事を知りました。

入社一年半頃、不動産取引主任者資格試験を受けなさいという会社命令であり、当時、不動産業法改正があり、専任の主任者の登録が必要になったと思えます。運よく合格し資格手当として月5千円頂きました。月給5万円の時でしたから大変うれしかったです。今思えば、私と不動産との初めての出会いであり、仕事に関わる基でした。

その後も、不動産とは関係なく工事課で忙しい日を送っておりましたが、私が25歳のとき父が急に亡くなり、家に帰ることになり、その後何年か勤めましたが、サラリーマンは転勤族です、何年も同じ場所に居ることもできず退社いたしました。一番思いでの現場は幕張A地区の埋め立て地、今の幕張メッセのある所です。埋め立て現場に行くと、信じられない位の鴨等の海鳥の集団です。今の幕張では想像も出来ません。

その後、若干のブランクがありましたが、求人チラシに不動産デベロッパー要員募集の広告が目につき取引主任者の資格が有るということもあり、面接を受け、仕事の内容は、宅地開発の手續に関する事が主で、その他、土地建物管理、不動産取引全般の仕事ということでした。工事関係の事も関係あるという事でぜひ働いてみたいと希望しました。内田会長のご親戚の千葉市の花澤林産興業(株)でした。

当時、花澤さんは勝浦市興津に110町歩の大規模別荘団地を計画しておりました。何もわからないまま上司につき不動産の一から指導を受け、現地の調査、公図との照合地権者から始まり土木設計者、弁護士を始めいろんな分野の専門家の協力を得て勝浦市の事前協議が整うまで3年かかりました、その後、県の協議が終了するまで1年かかっております。その中で一つの事を成し遂げる面白さ、物を作る面白さに通じるものがあります。やりがいのある仕事で有ると言う事が分かりました。

その後も小規模の宅地開発、マンション開発等の仕事に携わせて頂きました。その他に、鴨川の別荘団地の管理の仕事も見ておりました。この管理の仕事の中で所有者と管理者の間には、不思議な位に強い信頼関係ができるのですね、これは担当しております。強く感じました。

そのような関係の中に、いろいろな相談事、リフォーム、外構、建物工事土地の売却等、依頼事がでてきます。それを処理する事によりまた、強いつながりがりがりでできているんですね。

私が、会社を始めるのに「ナメキ不動産管理」という商号にしたのは、この様にお客様との信頼関係が持てる様な、お客様から管理を任せてもらえる様な会社を創りたいと付けました。土地管理、保全管理、宅地分譲、建築不動産取引の仕事をしてまいりまして、今日に至って居ります。

バブル崩壊後、売手、買手が付きにくい不動産が増加する中、私たち不動産業者はどのように生きたらよいか考えた場合、人柄や倫理観をも含めた個人の能力を兼ね備え、信頼を得なければこれからの地元密着型の不動産業は成り立たないと思います。自分の不動産は、自分の明確な意思をもって不動産を守る時代になってきたと感じます。地元密着型の業者の場合、日常的に発生する案件の中に地元でなければわからないヒントがあります。

委員会報告

◇富次年度クラブ奉仕委員長より報告がありました



ニコニコボックス

小山新一君 (5/14大栄C.C.でホールインワン)

野島暉通君 (仕事多忙)

行木英夫君 (本日卓話をさせていただきます)

鈴木勇君 (後継者が決まりました)

森川忠君 (前回欠席しました)

菅佐原盛治君 (明日のゴルフコンペ頑張ります)

石井省三郎君 (母の葬儀にいろいろありがとうございました)

本日計	29,000円
累計	1,205,000円

出席報告



例会日	会員数	出席	MU	%
5月21日	37	32	5	100.0